海の見える学校

令和６年３月２２日／発行者：松本　直道（長崎市立畝刈小学校校長）

ＡＺ教育　～一人一人の子供を大切にする学校～

第51回卒業証書授与式

３月１８日（月）春らしい温かい日差しの中、第５１回卒業証書授与式を挙行いたしました。今年度はコロナ明けということで、コロナがなかった時のように平常開催をすることができました。

昨年度まで制限していたのは、まず来賓の参加です。東育友会会長、田添三重中学校校長、辻郷三重地区連合自治会長、指方育成協・子どもを守るネットワーク会長をはじめとした地域の方々１７名にご参列をいただきました。また、在校生代表として、数年ぶりに５年生も全員参加しました。

体育館いっぱいの方々からの祝福を受け、荘厳・厳粛な雰囲気の中、卒業式は始まりました。

開式の言葉のあとの「国歌・市歌」のすてきな歌声、卒業証書授与の立派な返事やキビキビとした所作、式辞や祝辞を真剣に聞く態度、元気いっぱいにひびく「別れの言葉」の声、感動的な「旅立ちの日に」の２部合唱。どの場面もすがすがしく立派でした。

５年生も式にふさわしい落ち着いた態度で参加し、「別れの言葉」の中の代表児童のハリのある声が印象的でした。５年生は前日準備も一生懸命に取り組み、次期リーダーとしての自覚を感じました。

閉式の言葉のあと、退場していく卒業生の中には涙を見せている子もいました。校長である私を含めどの職員も心中では感動の涙をこらえ、かみしめながら拍手をし、りりしい卒業生の姿をずっと見つめていました。

最高学年としてのこの１年間、６年生の大きな成長に驚かされることばかりでした。決して順風満帆だったわけではない６年間の歩みでしたが、日々成長し、最高学年としてあるべき姿に変わり続けてきた６年生。それを優しく厳しく支えた６年生の担任や関わった先生方、温かく見守っていただいた保護者の皆様、地域の方々に心より感謝いたします。

６年生ありがとう～６年生を送る会～

３月６日（水）は、今まで畝刈小学校のリーダーとしてがんばってきた6年生にお礼と感謝の気持ちをこめ「6年生を送る会」を行いました。

2年生による「はじめの言葉」のあと、各学年からのお礼の出し物です。実は、コロナ禍の影響で、昨年度までは各学年からのメッセージなどのプレゼント渡しのみで「各学年からの出し物」は行っていませんでした。特別活動部からの提案や代表委員会での話合いを受けて、コロナ前まで行っていた「各学年の出し物（歌・演奏・寸劇・呼びかけ等）」を復活できたことは、とてもうれしいことでした。学年末のあわただしい中ですが、やはり心に残るいい行事や企画は残したいものです。どの学年の出し物も心のこもったすてきな内容で、在校生の６年生への感謝や尊敬などの思いがよく表現されていました。

職員からも今年度はサプライズとして先生方全員からの歌・楽器演奏を披露しました。始めは「校長先生の話」として私が少し話し、中島みゆきさんの「糸」を歌うのですが、途中から６年生の先生方→他の職員と、合唱や楽器演奏で次々と登場し、最後は全職員で大合唱します。6年生の子供たちからは「泣きそうになった！」とのうれしい言葉ももらいました。きっと6年生の子供たちの思い出の１ページとなったことと思っています。6年生からも、すばらしい呼びかけと合唱のお返しの出し物がありました。在校生に向かって、立派な態度で励まし呼びかけるハリのある声、しっかりした美しい歌声は在校生や先生方に大きな感動を与えていました。

５年生への校旗の引継ぎ式も行い、リーダーとしての活動を今度は５年生が受け継ぎます。「次年度は畝刈小学校のリーダーとして自分たちががんばる」という強い意気込みが、５年生の子供たちからひしひしと伝わってきました。

涙あり笑いあり感動ありの最高にすてきな「６年生を送る会」となりました。

【お世話になりました】

新聞報道でご覧になったと思いますが、私は今年度３月をもって６０歳定年退職を迎えます。

畝刈小学校に赴任して２年間、いろいろな困難もありましたが、良き職員や保護者・地域の皆様に恵まれ、本当に楽しい日々でした。私は今から８年前、平成28年度から29年度までの２年間、副校長としても畝刈小学校に在籍しており、通算では４年間畝刈小学校にいたことになります。

現在、時津町左底郷に住み、子供のころは滑石地区に住んでいた私にとって、畝刈地区はとなり町のような場所で、子供の頃はよく自転車で魚釣りをしに来ていたことを思い出します。

外遊びが大好きで、素朴で元気いっぱいの畝刈の子供たちをみると、自分の子供の頃のやんちゃな姿とよく重なります。そんなわけで私はこの畝刈地区や畝刈の方々が昔も今も大好きです。

私は教師になって、よく教室の前に「自分にきびしく　人にやさしく」とスローガンをかかげていました。今でいえば「自律」と「協調」でしょうか。畝刈小学校の玄関に「健やか」のモニュメントがありますが、体が健康であり、心が健全である人は「人にやさしく　自分にきびしく」できると思います。しかし、現代社会を見ると、他人や社会など自分以外にばかり厳しい目を向け、自分や自分の身内には甘く、法律や社会のルール・マナーなどを主体的に守ろうとしない人が少しずつ増えてきたような気がします。

畝刈地区の地域の方々と接していると、自分を犠牲にしても地域や子供たちのために尽力されている方に多く出会いました。心洗われ、学ばせられることが多かったです。昨年度の１５０周年式典の準備の折に特にそれを感じました。

これからもどこかでお会いすることも多いと思います。畝刈小学校に幸多かれと願い、筆をおきます。本当にお世話になりました。

「出会いに感謝！」